

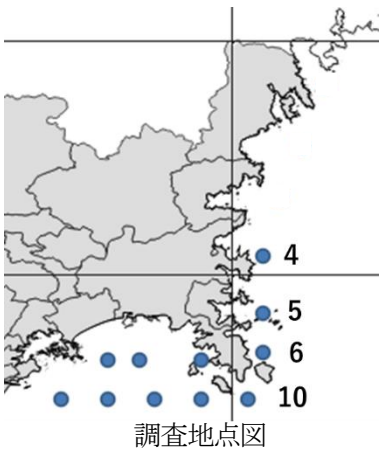
令和 7 年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況（NO. 3）

令和 7 年 6 月 11 日
水産技術総合センター

- 1 調査月日 令和 7 年 6 月 11 日
- 2 調査地点 右図の 4 定点(St. 4, 5, 6 及び 10)
- 3 概 要（詳細は下表のとおり）

1) 水 温：表層で 14.3～15.4℃の範囲にありました。

2) 貝毒原因プランクトン出現数
 - ・麻痺性貝毒原因プランクトン（*Alexandrium* spp.）は 0～10 細胞/L 確認されました。
 - ・下痢性貝毒原因プランクトン *D. fortii* が 50～260 細胞/L、*D. acuminata* は 0～100 細胞/L 確認されました。



調査結果表（4 定点）

St.	日時 水深 (m)	透明度 (m)	表面水温 (℃)	貝毒プランクトン出現数（細胞/L）							
				<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属	
				6月11日	5月1日	6月11日	5月1日	6月11日	5月1日	6月11日	備考
4	6月11日 10:37 84.0 m	9.0	15.3	0	130	100	10	30	140	0	
5	6月11日 9:57 36.7 m	11.0	14.3	0	30	130	0	20	30	0	
6	6月11日 9:07 66.1 m	13.0	14.5	10	20	50	20	0	20	0	
10	6月9日 10:13 84.2 m	8.0	15.4	10	70	260	0	100	30	0	

※貝毒プランクトンサンプルは0～20m層における柱状採水